

組付要領書及び部品表

Takakita

ブレンドキャスト[®] 用

電動シャッターキット

BS-D-3

適応機種	BS5311SS
	BS5311TS
	BS5311SW
	BS7311TS
	BS7311SW



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットから右記QRコードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**ブレンダーキャスタ用電動シャッターキット**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはブレンダーキャスタ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

電動シャッターキットの組付け

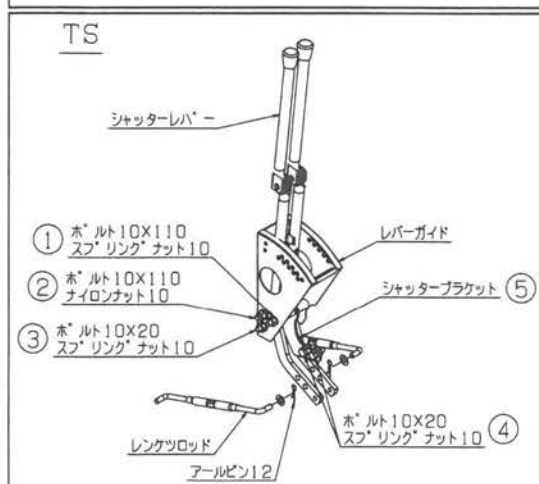
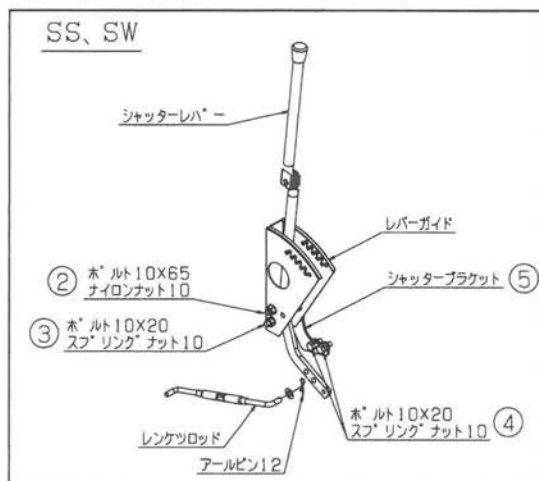
BS-D-3

このたびはブレンドキャスト用電動シャッターキットをお買い上げいただき、ありがとうございます。組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

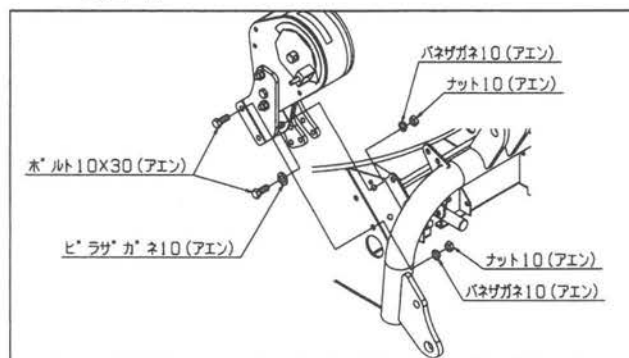
●開梱されましたら、組付前に部品表の部品が全て含まれているかをご確認のうえ、組付けを行ってください。

◆組付け手順

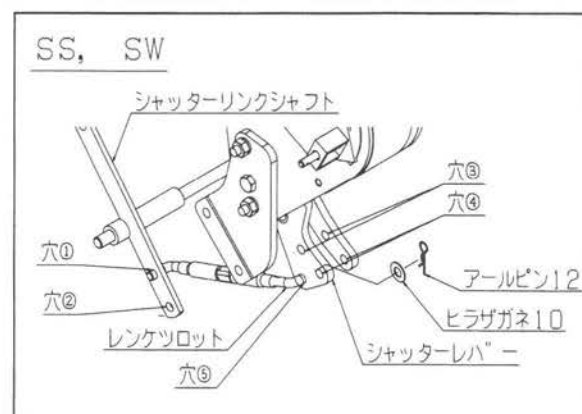
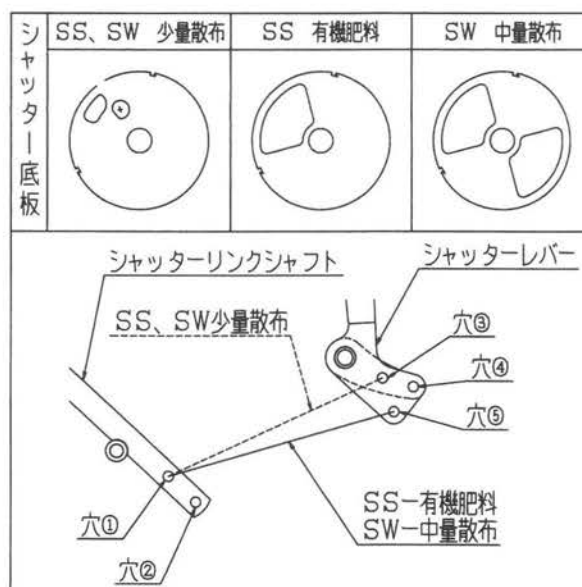
- [1] シャッターレバーに差しているレンケツロットのアールピン12を抜きレンケツロットを外してください。
- [2] 本体よりレバーガイド、シャッターレバーを固定しているボルト、ナット(①、②、③)を外し、レバーガイド、シャッターレバーを外してください。
- [3] シャッターブラケットを固定しているボルト、ナット(④)を外し、シャッターブラケット⑤を外してください。



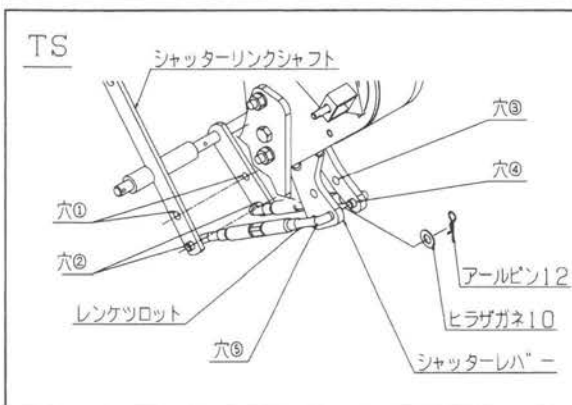
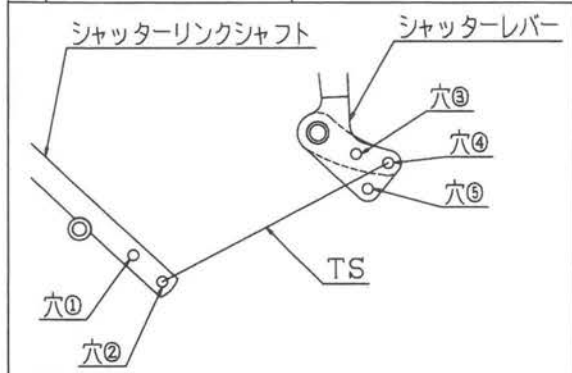
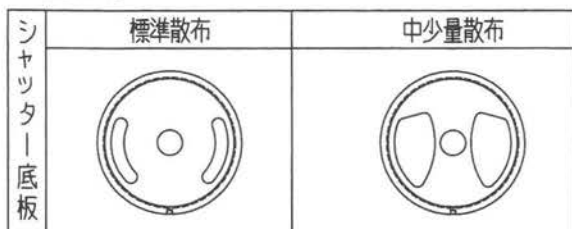
- [4] 電動シャッターキットを下図のように本体フレームにボルト、ナットで組付けてください。



- [5] レンケツロットをシャッターレバーに差し込んでヒラザガネ10とアールピン12を組付けてください。
シャッター底板の組み合わせによってレンケツロットを入れるシャッターリンクシャフトとシャッターレバーの穴位置が変わりますので、下図を参考にレンケツロットを組付けてください。



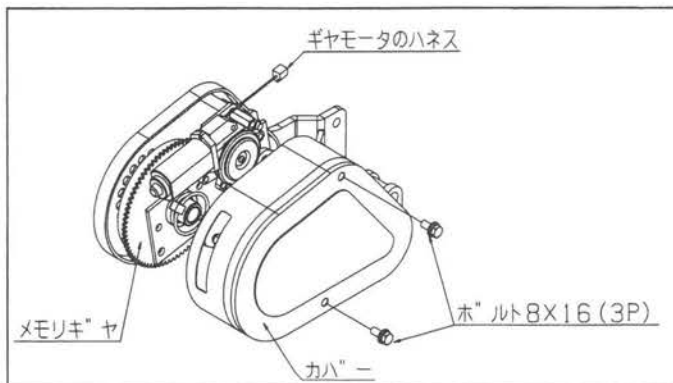
TSの場合は穴②と穴④に差し込んでください。



注意

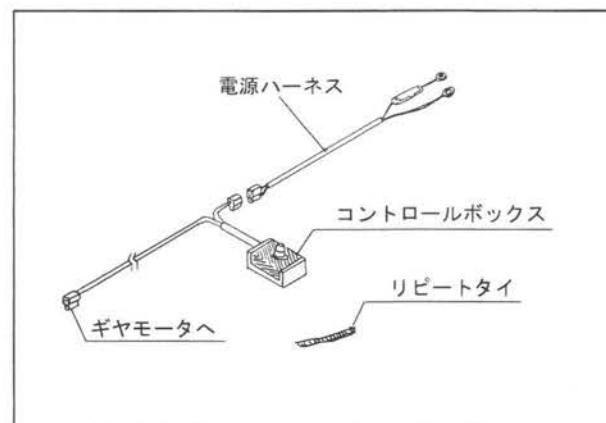
穴を間違えて組むと、シャッターの動き量が変わり全開全閉できなくなりますので、間違えないようご注意ください。

- [6] ギヤモータのハーネスを減速ギヤ、メモリギヤにかみ込まないように、カバーをボルト8×16(3P)で組付けてください。



- [7] 電源ハーネスをトラクタのバッテリーと接続し、コントロールボックスとギヤモータのハーネスを接続してください。

〔 白色線はバッテリーの(+)極へ、
黒色線はバッテリーの(-)極へ
それぞれ接続してください。 〕



警告

接続の順序は(+)側から行ってください。
また、取外すときは(-)側から行ってください。
逆にすると火花が飛び危険です。

注意

接続できるバッテリーの電圧は、12Vです。
24Vのバッテリーには接続しないでください。
誤って接続すると、コントロールボックスおよびギヤモータが破損します。

- [8] コントロールボックスのハーネスを、トラクタの3点リンケージの上下動に対応できるように十分余裕をもたせ、回転部等に干渉しないようにリピータイで本機に取付けてください。

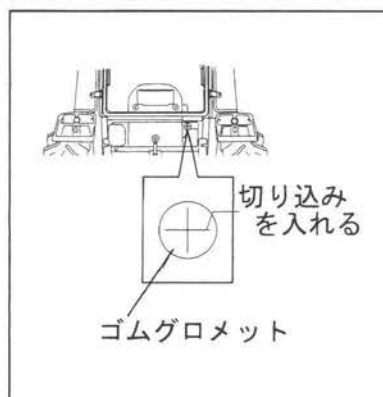
注意

使用前に各部の取付けに誤りがないかを確認してください。

ボルト、ナット等が確実に締め付けられているかを必ず確認してください。

◆トラクタへのハーネスの通しかたについて

キャビン付トラクタでハーネスをキャビン内に引き込む場合は、キャビン後ろにゴムグロメットがついている場合は、ゴムグロメットにカッタナイフで切り込みを入れ、ハーネスは必ずゴムグロメットを介して通してください。

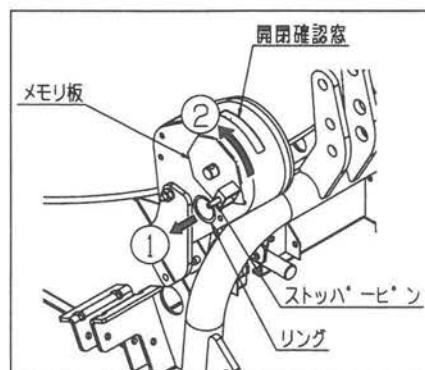


警告

ゴムグロメットを外して通すと、電源コードに傷がつき、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

◆シャッター開度の設定方法

- [1] メモリ板のリングを①手前に引っ張りながら、②希望のシャッター開度まで回し、リングを離してストッパーピンを入れてください。



注意

メモリ板の操作はシャッターが全閉の状態で行ってください。

シャッターが開いている時にメモリ板を操作すると、希望の開度までシャッターが動かない場合があります。

- [2] コントロールボックスのスイッチを「開」側へ倒しますと、シャッターが開きます。

注意

このとき、開度確認窓より、現在の開度を確認し、希望の開度になり開度メモリの動きが止まるまで、スイッチを押し続けてください。

途中でスイッチを放しますと、ギヤモータの動きが停止し、開度確認窓の開度メモリの開度しかシャッターが開かず、ご希望の散布量の開度までシャッターが開きません。

- [3] 散布作業を停止または終了するときは、スイッチを「閉」側に倒します。

この時も、シャッターが確実に閉まるまでスイッチを「閉」側に押しつづけてください。

注意

シャッターの開・閉が終われば、スイッチから手をはなしてください。

スイッチを押したまま保持され、ギヤモータがロックされた状態が続きますと、モータ内のブレーカが落ちます。

ブレーカの復帰には数分から数時間かかる場合があります。

！ 注意

可動部には、手などを近づけないでください。挟まれてケガをする恐れがあります。

◆シャッター開度の調整方法

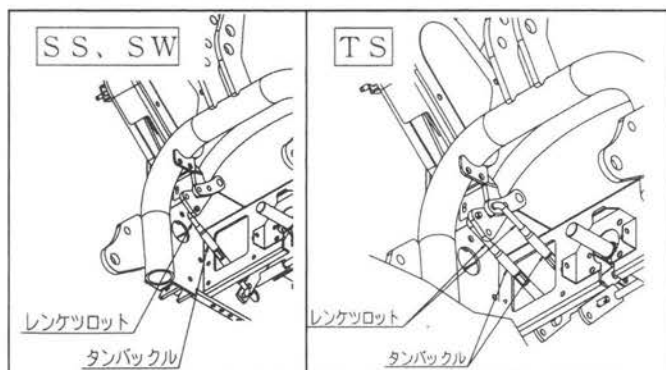
開度確認窓の表示が「閉」の時にシャッターが全閉になっていることを確認してください。

また、開度確認窓の開度表示が「開」の時にシャッターが全開になっていることを確認してください。

全閉にならない場合は、タンバクルを回してレンケツロットを短くし、全開にならない場合は、レンケツロットを伸ばしてください。

注意

レンケツロットを調整した後は必ず、全閉・全開を再度確認してください。

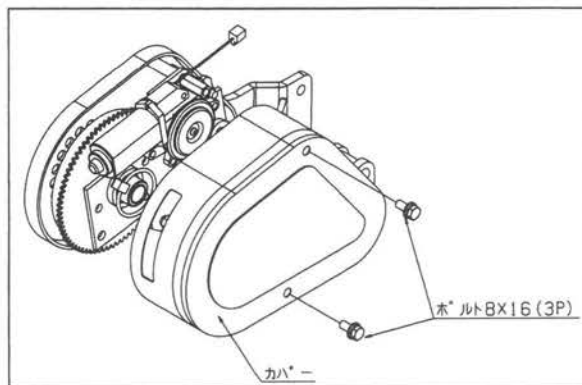


◆非常時のシャッター開閉方法

本機には何らかの原因で、ギヤモータが動かなくなった場合に、手動でシャッターの開閉が出来るようになっています。

以下の方法で、シャッターの開閉を行ってください。

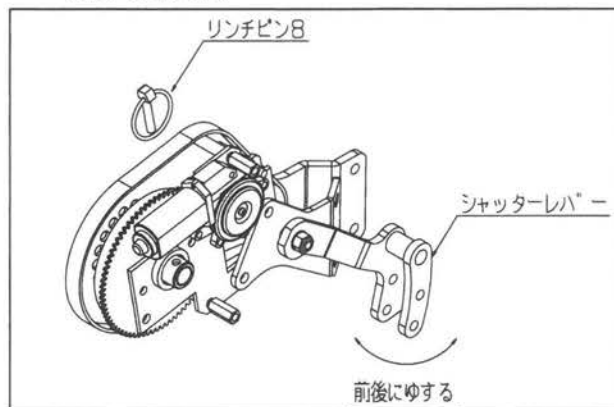
- [1] コントロールボックスの電源コネクタを抜き、コントロールボックスに電気が流れていないことを確認し、ボルト8×16(3P)を緩めてカバーを取外してください。



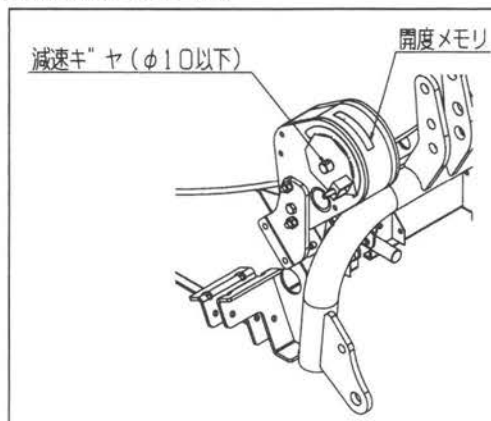
！ 警告

カバーの取外しは、必ずトラクタのエンジンを停止してから行ってください。これを怠ると傷害の発生の恐れがあります。

- [2] リンチピン 8 を取外してください。硬くて取外せない場合は、シャッターレバーを前後にゆすりながら外すと、取外しやすくなります。



- [3] 減速ギヤの穴にφ10以下の丸棒を差し込み回すことで、シャッターの開閉ができます。ただしこの時、開度メモリの数値は動きません。



◆作業終了後の格納

作業終了後は、スイッチボックスをギヤモータから切り離し、屋内の雨のかからない場所に保管してください。

⚠ 警告

取扱いの前にブレードキャスト本体の取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。